京・地域福祉推進指針（改定版（仮称））素案（案）の概要図

現行指針の総括評価と今後の課題，京都市を取り巻く諸情勢

↓

改定に当たっての視点

↓

基本理念

↓

基本目標

①福祉課題に対し，地域で一体となり解決を目指す仕組みをつくる

②福祉と防災・減災の両方の視点で災害にも強いまちづくりを進める

関連

重点方針

あらゆる力を結集させて，孤立死や虐待などにつながる社会的孤立を防ぐ

福祉防災の取組が全学区で実施されるよう支援する

重点方針を推進する施策の柱

〇コミュニティソーシャルワークの強化・推進
〇支援が必要な人の早期発見に向けた仕組みの強化
〇住民の権利保障の推進
〇ネットワーク構築の促進
〇福祉事務所と区社会福祉協議会との更なる連携強化
〇地域における福祉のまちづくりへの取組支援
〇共同住宅に住まわれている世帯と地域との橋渡し
〇地域福祉活動をされている方々の出会いとノウハウ共有の仕組みづくり
〇地域福祉活動の担い手の育成支援
〇京都ならではの大学と地域の協働による地域福祉活動の展開

〇福祉防災の取組の全学区実施支援
〇福祉避難所の設置拡大と災害時における円滑な運営の確保
〇地域における見守り活動促進事業を通じた要援護者情報の継続把握
〇区災害ボランティアセンターの運営体制の強化

資料２